

岐阜高専、マレーシア工科大学と包括交流協定締結

7月30日（月）、岐阜高専北田敏廣校長は、ジョホールバルのマレーシア工科大学(UTM)を訪問し、副学長代理タジュディン・ニンガル教授と共に、岐阜高専-マレーシア工科大学の包括交流協定に調印した。

マレーシア工科大学は、マレーシアを代表する工学系大学であり、2011年度で、14学部、6スクールと語学学校、マレーシア－日本国際工学校を持ち、学部学生13000人、大学院生10900人を擁する。

協定の内容は、学生の交換、教員の交換、共同の研究も可能にする包括的なもので、岐阜高専では、教員間の交流推進をベースに専攻科生の海外インターンシップ先としての交流を考えている。



締結後の記念撮影